

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 9 月 28 日 (2017.9.28)

【公開番号】特開 2016-65165 (P2016-65165A)

【公開日】平成 28 年 4 月 28 日 (2016.4.28)

【年通号数】公開・登録公報 2016-026

【出願番号】特願 2014-195456 (P2014-195456)

【国際特許分類】

C 0 8 J 3/24 (2006.01)

C 0 8 F 265/06 (2006.01)

C 0 8 K 11/00 (2006.01)

C 0 8 L 33/06 (2006.01)

C 0 8 L 67/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 J 3/24 C E Y Z

C 0 8 J 3/24 C F D

C 0 8 F 265/06

C 0 8 K 11/00

C 0 8 L 33/06

C 0 8 L 67/00

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 8 月 7 日 (2017.8.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(A) アクリルゴムを 100 質量部 と、(B) 熱可塑性ポリエステルを 15～70 質量部 含む混合物を、(A) 100 質量部 に対して 0.1～5 質量部の (C) 架橋剤の存在下で動的に架橋して熱可塑性エラストマーを製造する方法であって、

(A) アクリルゴムは、コアシェル構造を有し、

コア層は、

(a-1) 一般式 (1) 及び／又は一般式 (2) で表される単量体から選ばれる少なくとも 1 種を 80～100 質量部 と、

(a-2) アクリロニトリル単量体を 0～20 質量部 と、

(a-3) メタクリル酸アリル単量体を、(a-1) と (a-2) の合計 100 質量部 に対して 0.1～2 質量部とを含み、

シェル層は、側鎖に炭素-炭素二重結合を有する多官能単量体を含まず、

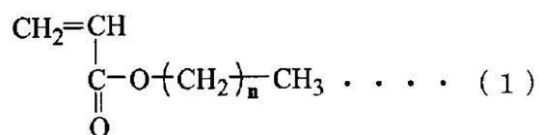
(a-4) 一般式 (1) 及び／又は一般式 (2) で表される単量体から選ばれる少なくとも 1 種を 80～100 質量部 と、

(a-5) アクリロニトリル単量体を 0～20 質量部 と、

(a-6) メタクリル酸グリシジル単量体を、(a-4) と (a-5) の合計 100 質量部 に対して 0～5 質量部とを含む、

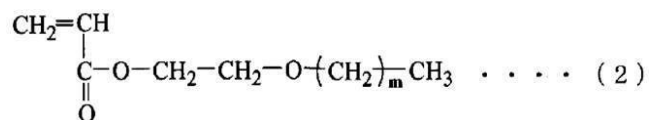
熱可塑性エラストマーの製造方法。

【化 1】



(式中、n は 0、1 又は 3 である)

【化 2】



(式中、m は 0 又は 1 である)

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は以下のものである。

(A) アクリルゴムを 100 質量部と、(B) 熱可塑性ポリエステルを 15～70 質量部含む混合物を、(A) 100 質量部に対して 0.1～5 質量部の (C) 架橋剤の存在下で動的に架橋して熱可塑性エラストマーを製造する方法であって、

(A) アクリルゴムは、コア-シェル構造を有し、  
コア層は、

(a-1) 一般式 (1) 及び／又は一般式 (2) で表される単量体から選ばれる少なくとも 1 種を 80～100 質量部と、

(a-2) アクリロニトリル単量体を 0～20 質量部と、

(a-3) メタクリル酸アリル単量体を、(a-1) と (a-2) の合計 100 質量部に対して 0.1～2 質量部とを含み、

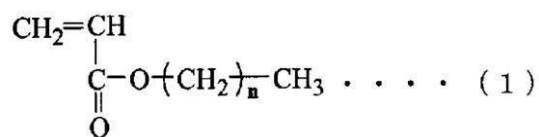
シェル層は、側鎖に炭素-炭素二重結合を有する多官能単量体を含まず、

(a-4) 一般式 (1) 及び／又は一般式 (2) で表される単量体から選ばれる少なくとも 1 種を 80～100 質量部と、

(a-5) アクリロニトリル単量体を 0～20 質量部と、

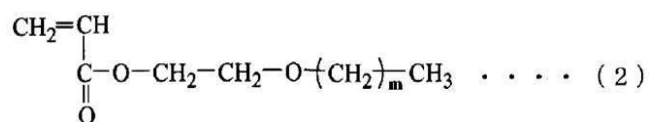
(a-6) メタクリル酸グリシジル単量体を、(a-4) と (a-5) の合計 100 質量部に対して 0～5 質量部とを含む、熱可塑性エラストマーの製造方法

【化 1】



(式中、n は 0、1 又は 3 である)

【化 2】



(式中、 $m$ は0又は1である)